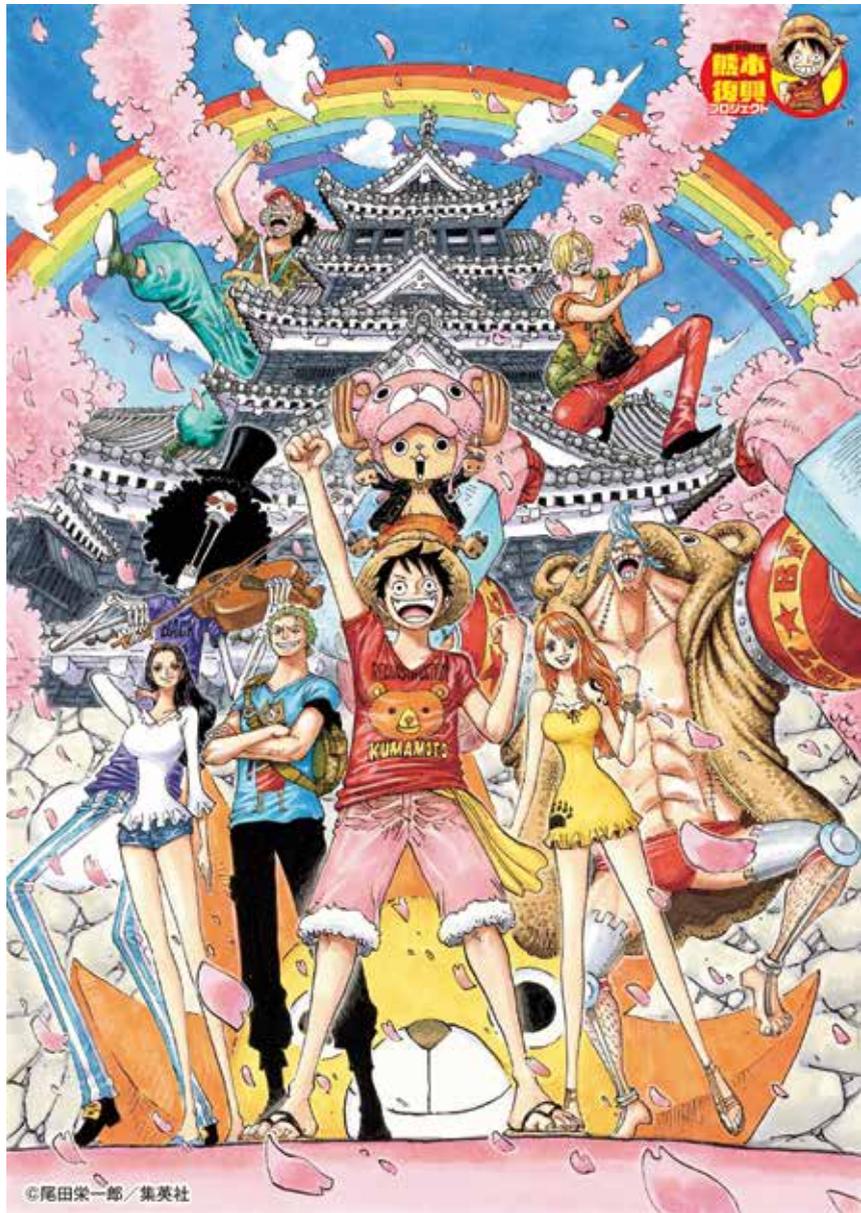


# ONE PIECE 熊本復興プロジェクト



## 復興プロジェクトとは

平成28年に発生した熊本地震からの復興に取り組む熊本県と、漫画「ONE PIECE」とが連携したプロジェクトです。  
 熊本市出身の漫画家、尾田栄一郎氏から震災直後に届いた「必ず助けに行く」という心温まるメッセージをきっかけにスタートし、復興に向かう熊本の「原動力」として、これまでさまざまな取り組みが行われてきました。

麦わらの一味が熊本の復興に力を与えています。



2016年11月に始まった熊本城復興城主制度では、特製コラボグッズをプレゼント



2018年の成人式では、県内の新成人に尾田先生と集英社から、メッセージとノベルティが送られました

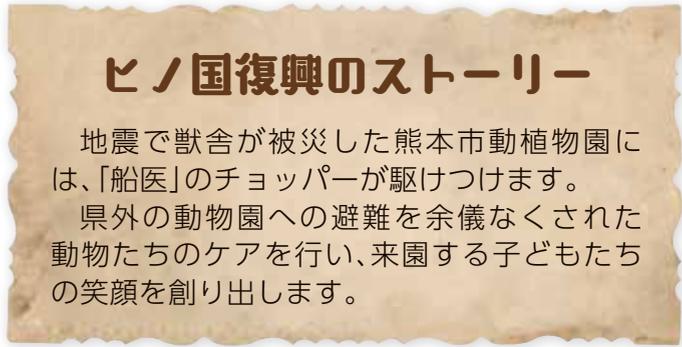
## 麦わらの一味「ヒノ国」復興編 始動!

このプロジェクトの一環として、「ONE PIECE」のキャラクターたちの銅像が県内の市町村に設置される「ヒノ国」復興編が始まり、本市にはチョッパー像が設置されることになりました。  
 熊本県庁の「ルフィ」、益城町の「サンジ」、阿蘇市の「ウソップ」に続き4体目となる「チョッパー」が、いよいよ動植物園にやって来ます!

## 動植物園に登場するチョッパーとは…



夢は何でも治せる医者になって自分が“万能薬”になること。高い知識と技術を持つ一味の優秀な船医だが、みんなを助けられる強い男になるために、健気に一生懸命奮闘している。“ヒトヒトの実”の能力で、驚異の七段変形! 戦局に合わせて臨機応変に戦える、一味の重要な戦力。



## 動植物園内に「元祖チョッパー」を発見!

チョッパー像が設置される7年も前から、動植物園には「元祖チョッパー」がいて人気を集めているのをご存じですか? その正体は、オスのシフゾウ(四不像)。「シフゾウっていったいどんな生き物?」「元祖チョッパーの性格は?」などなど、気になる生態を名付け親でもある担当飼育員に聞きました!

「シフゾウって、ちょっと変わった名前でしょう? 蹄はウシ、頭はウマ、角はシカ、体はロバに似ているのに、全体的に見るとどれにも似ていないことから来ているんですよ。まさにONE PIECEのチョッパーみたいだと思いますか?」とほほ笑む担当飼育員の森田さん。2013年、動植物園で新たなシフゾウが誕生した際に、「チョッパーに負けない人気者になってほしい」という思いを込めて迷わず命名したそうですが、後に本物の像が設置されることが決まりビックリ! 「W効果で動植物園がますますにぎわうとうれいですね」と期待が高まります。

性格はキャラクターに似ずおっとり系ですが、やさしいのは同じ。実は今年9月、国内最高齢だったお母さんのメイが天国に旅立ち、少し元気がない様子です。「チョッパー像を見た後は、ぜひ動植物園の元祖チョッパーにも会いに来てくださいね」。



立派な角を生やした元祖チョッパー



飼育員 森田 聡